

桜薬会 会報

No. **75**



October. 2021

目次

目次	2
会長挨拶	3
人物往来 後藤弘子	4
特集 臨床で役立つ薬物動態 (PK) 初歩の初歩 辻泰弘	6
学生生活の思い出 松島美菜	10
生涯教育講座のご案内	12
研究室だより	13
奨学金制度・収支報告書	16
地区支部・職域支部だより	17
日本大学ニュース	18
薬学部ニュース	18
会務報告	20
物故者名簿	21
令和2年度決算・令和3年度予算	22
日本大学薬学部校友会会則改正案	23
校友会役員名簿	24
広告	27
会費納入報告	28

★ 表紙・写真 撮影者：薬学部 写真部

日本大学校友会正会員募集中

皆様は日本大学薬学部校友会が、日本大学校友会の下部組織として活動していることにはすでにご存じのことと思います。薬学部校友会は卒業生を正会員に、在校生を学生会員として構成しております。日本大学校友会では卒業生全員に、毎年2月頃、校友会誌「KIZUNA（絆）」を送付し、別途登録して頂いた校友を正会員（会費10,000円）として正会員会誌「桜縁」（年2回発行）をお届けしております。正会員会費の一部は薬学部校友会へ納入した翌年に還付されます。還付金は還付当年度の薬学部校友会年会費としております。ぜひ正会員登録をして頂きたくお願い致します。希望者は事務局までお知らせ下さい。

工学部薬学科・理工学部薬学科卒業生にお願い：

登録・会費納入に際して郵便振替用紙記入の時、「所属する支部・部会」欄に必ず「薬学部校友会」と記入して下さい。無記入ですと本会に還付されませんので、薬学部校友会会費に振り替えることが出来ません。ご注意ください。

引き続き会長をお受けしてのご挨拶

会長 内倉和雄



ここ数年の夏の気象は、気温の異常に高い日が続たり豪雨が長時間降り続くなど暮らし難い環境にさらされることが多くなったように思います。加えて令和2年1月に国内で初めての新型コロナウイルスによる感染者が報告されて以来、感染者数の増減を繰り返しながら1年7ヶ月が経過した現在、令和3年8月には、更に増加傾向を示しています。主要都市部に加えて全国各地で感染者が増え続け、毎日1万数千人の感染者数が報告されています。異常気象とコロナ禍の中、生活や経済など多方面に多大な影響を及ぼしています。校友の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと拝察いたしますがいかがお過ごしでしょうか。

コロナ禍の影響は教育現場において現れ対応を迫られています。日本大学においても、Webによる遠隔授業を強いられ教室での対面授業を実施できない学部が多く見受けられます。当薬学部においても、施設や器具を用いる必要がある実験実習等は、学部内で行っていますが、それ以外の多くの授業はWebを介して行われています。

校友会活動においても多くの制約を受けています。コロナ禍の中、感染拡大を抑制する視点の一つとして3密を避けることで多人数での集会の開催が困難になりました。このような状況を受けて、令和2年度における、各種委員会、総会が開催出来ませんでした。また、在校生に対する入学記念特別講演会開催、スポーツ大会補助、桜葉祭補助などについて中止としました。令和2年度では、総会が開催できなかったために、会員の皆様方には変則的な対応をお願い致しました。皆様のご理解とご協力をいただき無事令和3年度を迎える事ができましたことについて深くお礼を申し上げます。

令和3年度を迎え、昨年実施できなかった総会を6月27日（日）午後3時から薬学部において開催することができました。開催場所を決めるに当たっては薬学部内の教室の使用にご理解とご協力を頂きました薬学部にお礼申し上げます。

令和2年度には、総会が開催できなかったため会長、役員改選などの手続きが進まず、現状の組織で引き続き運営してきました（会則第9条2項）が、当総会で会長、役員人事の承認をいただきました。任期は残任期間とし令和5年3月末までとなります。併せて、事業計画、予算計画などについてご審議いただきご承認いただきました。

校友会活動については、従来から行ってきた支部活動の活性化、薬学生涯教育講座の薬学部との共同開催、就職紹介、HPの整備充実、フェイスブックの活用、会誌発行などを介して会員の皆様への情報提供や利便性の向上に努めてまいります。また、学生会員（準会員）へは講演会、スポーツ大会、桜葉祭への補助、奨学金の拡充授与などについて引き続き継続いたします。加えて新たに会員と学生会員との交流の場として、例えば就職関連の情報を共有するための小規模・多数回の説明会の開催についても実施したいと考えています。また、卒業同期の会員相互の交流には同期会開催があり支援していますが、卒業年度の異なる会員相互の交流促進についても機会を模索し支援したいと思っています。会員、学生会員のための桜葉会として積極的に活動してまいりますので、これからも校友会活動についてご理解とご協力をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症が拡大、減少を繰り返し収束の兆しや目安も定まらない中ではありますが、皆様方におかれましては、ご健康に留意され、お体をご自愛いただき益々のご発展をお願いいたします。

人物往来



29期（理工学部薬学科：1984年卒） 後藤 弘子

昭和59年卒業の後藤弘子（旧姓 新村）と申します。

この度、日本大学薬学部薬剤師教育センター准教授 安部 恵先生のご推薦により、人物往来を執筆する事となり、感謝しております。学生時代から現在までの足跡と今後について述べたいと思います。写真のユニフォームは、2013年オリンピックの東京招致が決定してから、必ず関わるという夢が実現したTOKYO2020五輪のField Castとしてドーピングコントロール部門のボランティア活動で着用したものです。

【短期大学時代】

日本大学短期大学部応用化学科では、無機化学や有機化学の様々な実験を行い、実験結果と理論値がほぼ一致する値になるまで、実験を繰り返し行い、その考察を書き上げるのに、大学の図書館で書き上げた景色を今も鮮明に覚えています。夏休みの1ヶ月間は、企業から学生課へアルバイトの募集があったそのうちの1件で、開発中のアスファルトの組成分析をさせていただきました。検体を朝から夕方まで、分析抽出して、100%分析値に近づくように、精度を鍛錬する良い経験になりました。応用化学科卒後の進路は、工業化学科と薬学科への編入学制度があり、私は、薬学科編入学を選びました。

【大学時代】

薬学科では、2年生に編入することになり、習志野校舎での教養課程の授業が必須でした。習志野校舎で午前中の授業を受講し、午後からお茶の水校舎の授業や実験に出席する事になりました。それも楽しく充実した1年間を過ごせました。3年生の夏休みは、宇都宮の実家には帰省せず、「薬物研究室」で、卒研の実験内容を見学体験するまたとない機会を与えて下さった村越先生、牧村先生に感謝申し上げます。英語の論文を簡単に訳す研究室の先輩たちに、大いに刺激をもらうことができました。4年生の研究室選びは、迷わず薬物研究室に入りました。帰宅時間が遅くなる実験と国試の勉強の両立は、私自身不安もあり、先生方にご相談をし、考察組に入りました。受験勉強にも集中できた事は、短大からトータルして5年間の大学生活で一番勉強した時期となりました。支えて下さりました恩師、学友にも恵まれた事、また両親のサポートに、大変感謝しております。どうもありがとうございます。

【社会人】

卒業後は、地元の東宇都宮クリニックで、4年間調剤業務等を行いました。

透析施設と、一般診療から小児科まで、幅広い年齢層の患者さんが受診しており、開業医の先生、看護師の方々の地域医療に対する献身的な姿勢に触れ、医療従事者としての基礎を身に付けることができました。

結婚後は、板橋の社宅生活を送ることになりました。募集があった東京都老人医療センターへ勤務致しました。高齢者の急性期医療専門病院でしたので、多くの薬剤を調剤する良い経験となりました。現在名称が変更になり、東京都健康長寿医療センターとなり、今も中庭にある渋沢栄一院長像は、変わらず医療従事者を見守っている事と思います。

再び、主人の転勤で宇都宮に戻り、宇都宮市薬剤師会館 西支援センターへ勤務し、医薬分業を推進のため、薬局の在庫支援を行う業務も致しました。その後役目を終え、会館閉局後は、ゼリア新薬工業株式会社宇都宮事業所に勤務しました。市販後調査や、副作用報告、サンプル卸を取得した事業所だったので、医療機関への製品サンプルの手配やMRさんの業務をサポートする事ができ、医薬業界を多

方面から見聞する良い機会に恵まれました。製薬メーカーのオフィス集約の流れで、宇都宮事業所の撤退が決まり、次なる就職を探す事となりました。福神株式会社宇都宮支店の管理薬剤師急募を新聞広告で見て、MRさん達も、後押しして下さり、再就職をしました。卸の管理薬剤師業務は多岐にわたり、DI業務、職員に対する教育研修、医療機関・薬局等が取得している免許の確認、薬務課・保健所への連絡業務、医薬品の品質管理、流通管理品目の在庫管理等、充実した勤務でした。福神株式会社から、統合でアルフレッサ株式会社になり、10周年には、全社で行動指針を策定する公募がありました。連日考え抜いたものが、優秀作品賞に選ばれ、その行動指針は全社に配置される事となりました。記念の盾は、2015年4月の良い思い出になっています。

【転機】

2011年東日本大震災は、私の人生にも大きな転機となりました。南相馬と石巻へ災害支援薬剤師として、避難所をDMATと帯同し、先発隊から受け継いだ医薬品を運び、その中から、オーダーされた医薬品の調剤をして回りました。石巻では、石巻薬剤師会の丹野佳郎先生の指示を仰ぎながら、避難所になっている学校の公衆衛生状況を見て回りました。これらの経験が、いつか医療現場に戻り、学校薬剤師になりたいと強く思い始めました。早期退職制度を利用し、お世話になった職場を離れました。

【現在と今後】

退職後は、平成30年4月より、学校薬剤師を委嘱され、小学校で、くすりの教室（写真）やタバコの害について授業を行っています。児童たちの質問は授業時間内に留まらず、授業内に使うドリルにも記入され、毎回目を通すのが楽しみです。平成29年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を桜薬会会報の募集で知り、応募しました。「日本大学におけるアンチ・ドーピング教育拠点確立とポストオリンピックへの展開」における安部先生の熱意に賛同し、制作された「日本大学健康かるた」を小学校の保健委員会で、活用しました。児童たちが楽しみながら、学べる素晴らしい教材なので今後とも利用させていただきたいと思います。



中学校では、薬物乱用防止教室の中で、薬剤師の仕事や活動を自己紹介しながら、伝えております。夜間休日診療所では調剤の輪番に入り、地域医療に貢献できるよう続けて参ります。地域で薬物乱用防止啓発活動をしてきたご縁もあり、令和2年度宇都宮市公衆衛生事業功労市長表彰を授与致しました。栃木県薬剤師会の理事となり、役員の先生方と共に、薬剤師の職能の充実と公衆衛生の向上に取り組み日々精進して参ります。今後もスポーツファーマシストの責務と2022とちぎ国体へ向けたアンチ・ドーピング活動の啓発に、オリンピックでの経験を生かし、取り組む所存です。社会人になって以来、常に日大卒の繋がりが、私の支えになっております。

薬学部校友会（桜薬会）ホームページでの求人情報募集

会員からの求人情報の掲載は無料です。求人申込書はホームページの「求人・求職」のページからダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局に郵送（あるいはFAX）してください。なお、「求人・求職」のページを閲覧（ログイン）するには、会員番号IDが必要です。会員番号IDは封筒宛名下にある会員番号の下6桁です。

ホームページアドレス；<http://alumni.pha.nihon-u.ac.jp>

メールアドレス；pha.alumni@nihon-u.ac.jp

薬剤師教育センター 教授 辻 泰弘



1. はじめに

臨床薬物動態（PK）の基本は、投与量、薬物血中濃度などの情報に加え、年齢、性別、体重および血液検査値等を定量的に組み込み、薬物の吸収、代謝、分布および排泄について、薬物速度論モデルを利用して予測・説明するものである。治療薬物モニタリング（Therapeutic drug monitoring, TDM）は、臨床薬物動態学が基本となっていることは周知の事実であるが、最近、臨床系の関連学会で、次のような質疑応答をしている薬剤師をみかけることがある。

- 「薬物の分布容積が大きいから消失半減期が長い」
- 「脂溶性薬物だから組織移行性がよい」
- 「血清アルブミン値が低下したから遊離形薬物が増加する」
- 「平衡に達しているので血中と組織の薬物濃度は等しい」
- 「2相性の薬物動態を示すので組織移行性がよい」

これらの考えは、薬物動態学のある一面からみると正しくみえるが、生理学、薬剤学、物理化学の観点から考察するとすべて正しいとは言えない。本稿では、筆者の病院薬剤師業務の経験を踏まえ、薬物動態を臨床で応用実践していく上で重要となる、薬物動態（PK）の必要性をあらためて紹介する。若干、思い出話を含んでいるが、寛大なところで読み続けていただきたい。

2. 卒前・卒後教育における薬物動態学

薬学教育において、臨床薬物動態学は「薬物動態学」もしくは「生物薬剤学」という科目授業で講義を受け、演習・実習で理解を深める。臨床薬物動態学・臨床薬物動態解析は、生理学、薬剤学、物理化学、臨床医学、生物学、統計学などの科目横断的知識が不可欠であり、学生時代の筆者にとっては単位取得に苦慮する科目のひとつであった。一方、臨床におけるTDMにおいては、簡便に解析を実行するソフトウェアが（無料）配布され、背景の理論を理解しないままにそれがブラックボックス的に使用される実害が生じているのが現状である。筆者が薬剤師として勤務を始めた2000年前後では、複雑な公式やプログラムを理解できる薬剤師が薬剤部（薬局）に少なくとも1名存在し、TDM業務を担当することが多かった。このため、TDMは職人芸的な要素が強いと言われていた(1)。当時の筆者は職人芸どころか、患者治療に直結する“薬剤師にしかできない役割”を担っていると考えていた。しかし、近年は模式図を利用し感覚的に臨床薬物動態およびTDMを理解できると謳っている書籍も多くみられる。投与時間、採血時間の情報が得られれば、シミュレーションソフトおよび各種ガイドラインを用いて投与設計を行う薬剤師も増えている。便利なツールが増えることのメリットは大きい。筆者は臨床薬物動態解析やTDMに携わる薬剤師にとって、感覚的な理解ではなく、数式を理解することは重要であると考えている。言い過ぎかもしれないが、「計算や数式に頼らないTDM」はありえないとさえ考えている。なぜなら、薬学教育において、生体内でのクサリの動きに関する数式の成り立ちを必ず履修しているか

らである。その反面、卒後教育で再度勉強しようと試みても十分な学習時間を確保できずに、挫折してしまうことが多い。その気持ちは十分に理解できる。かくいう筆者も、高校レベルの対数関数や微分方程式が解けずに学生に教えを請うことも多い。年齢とともに計算能力は低下しているが、理解しようと努力を重ねている。自明のことだが、薬剤師は生涯にわたって勉強することを継続しなければならない職種である。しかしながら、数式だけを例示しても理解が深まることはない。そこで、臨床薬物動態の知識・解釈がミスリードされないための最低限の理論を述べていく。

3. 治療薬物モニタリング (TDM)

近年、医療現場でもインターネット環境が整備され、治療に必要な海外の知見や論文等の情報を即座に収集可能となっている。ときには、特定薬剤治療管理料の対象ではない薬物の血中濃度測定を、医師から要望されることもある。要望に応えたいが、現代の臨床薬剤師業務は多岐にわたること、人員や設備等の問題により、薬物濃度を測定することが可能な医療機関は少ない。TDM を用いた薬物治療では、基礎疾患を含めた患者背景、疾患部位、状態および進行度の状況を総合的に判断し、最適な薬物および用法用量を選択することが重要であり、決して、薬物血中濃度を測定することのみで終わらせてはならない (2)。すなわち、薬物血中濃度を測定すること自体が TDM のエンドポイントではなく、そこから洞察される患者の薬剤反応性を治療計画に役立てることが必要である。繰り返すが、薬物血中濃度を測定することが TDM の役割ではない。特定薬剤治療管理料算定の対象薬剤のみが TDM の対象ではなく、従来からの TDM 業務の対象範囲と処理内容を拡張および発展させ、薬物治療を個別最適化してアウトカムを最大化するアプローチが必要となる。このためには、汎用計算ソフトに母集団薬物動態パラメータを入力し、簡単な数式および関数式を組み込むことで、“ある時点”における薬物血中濃度を予測する技術の修得も必要だと思われる。

4. 薬物による治療効果

ロケット

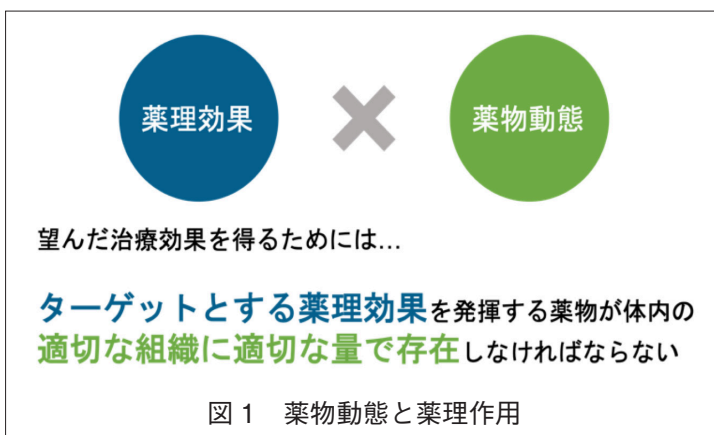
ひとたび発射ボタンを押すと、計算通りに宇宙へ向かって進んでいく

くすりの効果

同じように投与したとしても計算通りの結果が得られない (個人差があるからこそ医療は難しい)

計算とおりに進まないからと薬物治療を諦めることはない。個人差があるからこそ医療は難しく、薬剤師として個別化投与に挑戦する意義がある。望んだ治療効果を得るためには、ターゲットとする薬理効果を発揮する薬物が体内の適切な組織に適切な量で存在しなければならない (図1)。薬剤選択に関わる部分である薬理効果に対する興味の高さは大きいですが、薬剤を選択した後

にどのように患者に応じた個別化投与設計をするのか、ということに対する興味は希薄である。薬物動態を把握するためには、いつ、どこの組織・臓器にどの程度の薬物量が存在しているのかを知る必要がある。しかし、私たちは生体内に存在する薬物の量を直接知ることは出来ない。そこで、薬物量を直接知る代わりに、採血・測定を行い薬物血中濃度の情報を得ている。得られた薬物血中濃度は、さらに次の薬物血中濃度の推移を予測するために用いられ、投与量を決定するために用いられる。また、薬物血中濃度の推移は治療効果や副作用発現の推移



と結びついているので、薬物血中濃度を予測することが可能になれば、最終的に治療効果や副作用発現についても予測することが可能となる。

5. 薬物動態の基本

薬物動態は、ADME と呼ばれる 4つの要素で成り立つ (図2)。ADMEは、吸収、分布、代謝、排泄の頭文字をとったものである。吸収は、消化管からの吸収だけでなく、経皮や舌下などからの吸収も含まれる。もちろん、薬物の吸収率は高いほうが良いが、吸収速度は一概に速ければよいとは言うものではない。薬物の治療効果の持続時間を延長させることを目的とし、緩徐に吸収されるよう薬剤が設計されることもある。吸収速度が速いほど、薬物血中濃度の立ち上がりが高く、吸収速度が遅いほど立ち上がりが遅い緩やかなカーブを示す。薬物は生

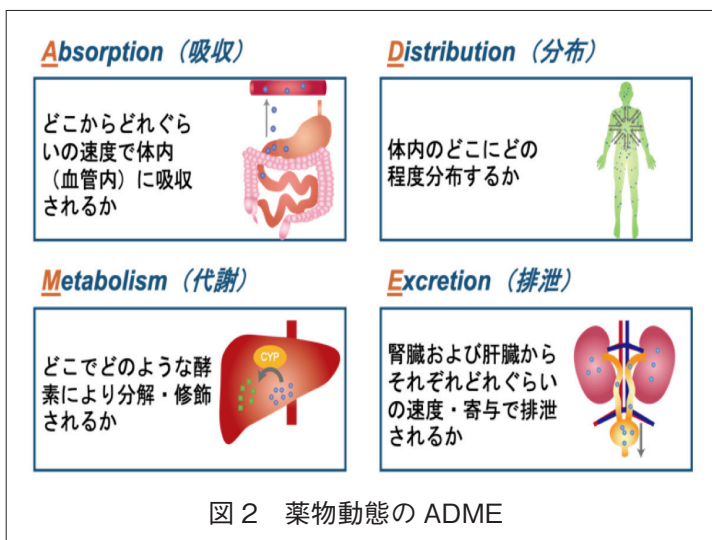


図2 薬物動態のADME

体内に取り込まれると、全身へ分布をはじめ。分布のしやすさは、患者の体格・体組成や薬剤の性状によって異なる。薬物が体内から消失する際に代謝を受ける。一部の薬物では代謝は全く受けず、そのまま体外へ排泄される場合もある。薬物の主な代謝部位は肝臓であるが、他の臓器において代謝を受ける場合もある。最後に薬物は腎臓や肝臓等から排泄される。腎臓から主に排泄される薬剤を腎排泄型の薬剤と呼び、投与の際は患者の腎機能に留意する。肝臓から主として排泄される薬剤 (厳密に述べると胆汁中) のことを肝代謝型薬剤と呼び、代謝酵素の遺伝子多型や肝機能に留意する。

6. 経口投与と生物学的利用率

薬物を経口投与した場合、はじめに口腔および食道を通過し、胃に到達する。一部の薬物は胃でも吸収されるが、胃では主に胃酸による分解を受ける。ここで、錠剤やカプセルのように塊の状態から、薬物が溶けだした状態となる。胃酸によって薬物の効果が失われてしまう薬物の場合、腸で分解されるように錠剤やカプセル剤にコーティングが施されている。小腸は、薬物の主たる吸収部位であり、一部薬物は、小腸

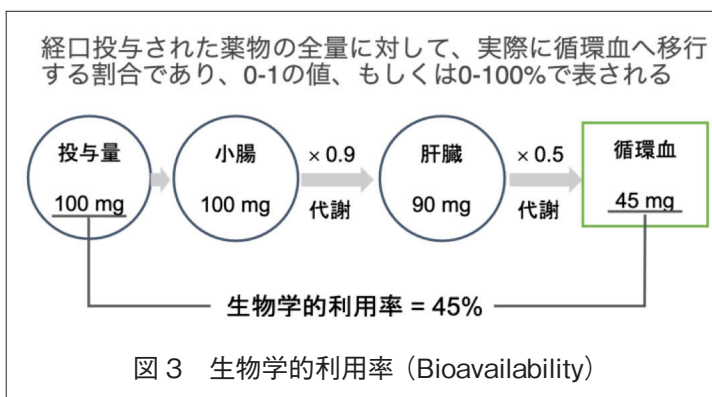


図3 生物学的利用率 (Bioavailability)

に存在する代謝酵素による代謝も受ける。薬物の消失過程ではなく、吸収過程で受ける代謝は、初回通過効果と呼ばれる (3)。その後、消化管と肝臓を繋ぐ血管である門脈を通り、肝臓へと移行する。肝臓にはさらに様々な酵素が存在しているため、ここでも初回通過効果を受けることとなる。初回通過効果を受けて、薬物の効果が失われてしまうと、全身血へ乗る前に効果が失われてしまう。従って、著しく初回通過効果を受ける、もしくは胃酸によって効果が失われてしまう薬剤は、注射剤を適用することになる。経口投与された薬物の全量のうち、最終的にどの程度の薬物が循環血へ移行するのかを表したものを、生物学的利用率という (図3)。

7. Precision Medicine の到来

2015年、米国大統領の一般教書演説において、“Precision Medicine Initiative”が発表され、世界的にも注目されるようになってきた。従来型の One-size-fits-all 医療は、“平均的な患者”に対してデザインされたものである。薬学を例にあげると医薬品添付文書に記載されている用法用量が該当する。実際に、画一的な用法用量では、ある患者群には大変効果のある医療ではあるが、その他の患者には効果が希薄となる可能性が高いことが問題となる。一方、Precision Medicine は遺伝子、生活環境、ライフスタイルに関する個人ごとの違いを考慮した予防法や治療法を確立し、患者個人の体質や病気の特徴にあった治療を行うことを目的にしている。筆者は臨床薬物動態学がこの Precision Medicine の成功に大きく寄与できると考えている。

まとめ

一般の患者とは異なる、肝・腎機能低下者、高齢者、小児、妊婦、授乳婦、肥満者などの特殊病態患者では、PK の患者間変動が大きい。投与方法最適化と副作用マネジメントに貢献するのは薬剤師の責務である。その際に、臨床薬物動態学の知識を患者治療に応用できるよう、卒後教育などを通じて自己研鑽に努めていただきたい。

引用文献

1. 緒方宏泰（編）、谷河賞彦、塩見真理、土綿慎一、小松完爾（著）、医薬品開発ツールとしての母集団 PK-PD 解析—入門からモデリング & シミュレーション—、東京、朝倉書店、2010
2. 辻泰弘、猪川和朗、笠井英史（編著）、クリニカルファーマコメトリクス、東京、南山堂、2019
3. 緒方宏泰（編）、増原慶壮、松本宜明、木島慎一、高橋晴美（著）、第4版臨床薬物動態学、東京、丸善出版、2019

略歴

学歴

1997年 日本大学薬学部薬学科 卒業（青木正忠教授、臨床薬剤学研究室）

2008年 博士（薬学）福岡大学 取得

職歴

1999年 医療法人財団白十字会佐世保中央病院薬剤部（旧薬局） 入局

2011年 薬剤部門長

2012年 富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）医療薬学研究室 准教授

2014年 長崎大学大学院医歯薬総合研究科展開医療科学講座病態解析・診断学 客員研究員（国内留学）

2015年 Visiting scholar, Department of Pharmacology & Clinical Pharmacology at the University of Auckland, Professor Nick Holford（海外留学）

2019年 日本大学薬学部 薬剤師教育センター 教授

学会活動

日本薬学会代議員（現在）、日本医療薬学会代議員（現在）、日本臨床薬理学会評議員（現在）、日本TDM学会評議員（現在）、日本化学療法学会評議員（現在）、薬物治療モニタリング研究会幹事（現在）、日本薬物動態学会会員、日本慢性疼痛学会会員、日本化学療法学会抗菌薬 TDM ガイドライン作成委員会委員、日本医療薬学会医療薬学教育委員会委員

専門分野

臨床薬物動態学、臨床薬理学、計量薬理学

—— 学生生活の思い出 ——

58期（薬学部薬学科：2015年卒）松島 美菜



東京2020オリンピックをテレビ越しで観戦しながら、私がロンドンオリンピックに出場してから9年という月日が経ったのだと、時の流れの早さを感じました。当時思い描いていた未来とは違う日々を過ごしていますが、それでも薬剤師になれてよかったと常々思い、働けていることを誇りに思います。大学時代を振り返ると、薬剤師とオリンピック出場という幼少期からの夢を無我夢中に追いかけて、とても充実した日々を過ごしたと改めて感じます。

私が日本大学薬学部に入学を希望したのは、日本大学にはオリンピック選手を数多く輩出している水泳部があること、日本大学薬学部には、薬学部では少し珍しい健康・スポーツ科学研究室があったからでした。そのため、大学に合格した時はとても嬉しかったのと同時に、2つの夢を追いかける覚悟を決めました。いざ薬学部の授業が始まると、水泳との両立が想像以上に大変だったことをすぐに思い知らされましたが、いつも「自分で決めた道なんだから」と自分を鼓舞して乗り切っていました。そんな学生生活を一言で表すと「時間との勝負」。練習時間も勉強時間も遊ぶ時間も大切にしていたため、限られた時間を最大限に活用するよう意識していました。たった5分だけでも時間が余れば教科書を開いたり、ストレッチをしながら暗記物を唱えたり、1本でも早い電車に乗って帰れるよう、駅まで走ったりしていました。そして、そんな私をいつも支えてくれたのは友人達でした。

大学に必要な最低限の時間しかいなかった私にとって、クラス制度があり、ほとんどの授業をクラスメイトと受ける環境は、友人関係を築く上でとても良い環境でした。いつも授業を一緒に受ける友人、実習班で仲良くなった友人、顔見知りになって少しずつ話すようになった友人など、きっかけは様々でしたが多くの友人達に囲まれて学生生活を送ることができました。また、薬剤師になるという同じ目標に向かって友人達と切磋琢磨できたことは挫けずに頑張れた大きな要因のひとつでした。そんな友人達との1番のエピソードは、在学中最大の壁となった卒業試験でした。私のときは、卒業試験が3回あり、そのうち2回合格点に達すれば卒業できるというものでしたが、2回目の試験で数点足りず落ちてしまいました。すぐに気持ちを入れ替え、3回目の試験に向けて勉強を再開したのですが、その時、友人達が手を差し伸べてくれました。2回目の試験に合格している友人達は自分の国家試験の勉強があるのにも関わらず、ひとりと一緒に勉強しようと声を掛けてくれ、ひとは家に来て家庭教師をしてくれ、またひとは苦手な教科の問題を解くよう毎日連絡をしてくれ、3回目の試験に合格できるようサポートしてくれました。そしてみんなが「一緒に卒業しようね」と声を掛けてくれたことは大きな力となりました。3回目の試験本番でも休み時間を使ってぎりぎりまで勉強を教えてくれた友人達のおかげで、無事合格し卒業することができました。本当に友人達がいなければ乗り越えることができなかったと思います。友人達に助けてもらってばかりだった私の学生生活でしたが、友人が「美菜が頑張ってるのを見ていると私も頑張れるし、そんな美菜を支えることができていると嬉しい」と言ってくれたことがありました。いつも助けてもらってばかりで申し訳なく思っていたが、その言葉は何よりも嬉しく忘れられない言葉となっています。

学生生活の1番の思い出となると、私の場合はやはりオリンピックに出場したことになります。競泳のオリンピック代表を決めるオリンピック選考会が大学4年生の春にありました。オリンピックに出場するために大学でも水泳を続けていた私にとって、オリンピック選考会の決勝レースの日は運命の1日でした。

競泳は、オリンピック選考会の決勝で日本水泳連盟が定めている派遣標準記録を破り、なおかつ2位

以内になれば代表になれるという一発勝負の選考方法です。私の専門種目は国内の競争が激しい種目だった為、派遣標準記録を突破することより、2位以内になることが運命の分かれ道でした。緊張しながらも冷静に泳げたレースの結果は3位の選手と0.02秒差で2位。たった0.02秒ですが、その後を大きく変える0.02秒でオリンピック出場が決まりました。両立は大変だったけれども、頑張ってきてよかったと思う瞬間でした。しかし、オリンピック出場が決まったとき、嬉しい気持ちとともに不安なことがひとつだけありました。それは、オリンピック出場の為、前期の授業を受けられず留年する可能性があったことです。その後、大学が特例として前期の授業を後期に受けて試験に受ければ留年を避けられるということを知ってくださったため、その不安は払拭されました。とてもご迷惑をお掛けしましたが、ご配慮してくださった当時の薬学部の方々、後期にマンツーマンで授業をしてくださった先生方には、感謝の言葉もございません。オリンピック本番は大きな会場や声援などオリンピック独特の雰囲気は圧巻でしたが、緊張しながらもレースを楽しんで泳ぐことができました。残念ながらオリンピックの決勝で泳ぐという目標には届かず、準決勝敗退という結果ではありましたが、オリンピックに出場するという夢がかなった瞬間でした。



私は在学中によく「両立していて本当にすごい」と言っていただくことが多かったです。ただ、それを成し得ることができたのは、多くの方が私にたくさんの手を差し伸べてくださったからだと思います。私は、たくさんの人の力を借り、自分の好きなことを夢中に追いかける幸せな時間を過ごすことができました。当時支援してくださった方々にはいまでも変わらず感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、私は薬局で働いています。地域の皆様にとっても愛されている薬局です。それとともに、東京都薬剤師会アンチ・ドーピング委員会での活動や薬剤師向け、アスリート向けにアンチ・ドーピングの講演活動をしています。また、卒業後に少しの間ではありましたが、



アンチ・ドーピングの研究を始めるからと日本大学薬学部の先生方に声を掛けていただき、アンチ・ドーピングの研究者として戻ることができとても光栄でした。今はまだ自分が思い描いていた薬剤師にはなれていませんが、今後も薬剤師として成長できるように日々勉強し、経験を積んでいきたいと思っています。

今回寄稿の依頼を受け学生時代をじっくりと振り返ると、自分の夢をひたすら追いかけていたため、友人との旅行やサークルの合宿、文化祭など、勉強以外の大学生らしい生活はほとんどありませんでした。しかし、何かに打ち込むことができていたことは、とても素敵なことだったと思なおすことができました。私は水泳以上に熱中できるものにまだ出会っていませんが、また熱中できることを探しながら、学生時代のようにエネルギーに再び歩みだしてみようと思います。

薬学部校友会（桜薬会）ホームページのID

日本大学薬学部校友会ホームページの「校友会会則」・「求人・求職のコーナー」・「運営委員会資料」を見るにはIDとパスワードが必要です。

IDは宛名の下にある正会員番号の下6桁（半角）、パスワードは氏名（全角カタカナ）になります。ID・パスワードは毎年10月の末に一括更新しております。毎年3月に卒業された方は、10月までは学生時のID・正会員のIDどちらも見られますが、それ以降は正会員のIDをお使いください。氏名の変更をお届けいただいた方は、10月までは旧氏名となります。

生涯教育講座のご案内 (2021年10月～2022年3月)

令和3年度の生涯教育講座の日程をご案内します。最新の開催情報はホームページに掲載します。開催内容等変更になる場合がございますので、ホームページにて必ず御確認ください。

<http://www.pha.nihon-u.ac.jp/longlife-learning.html/> (この頁の右下のQRコードをご利用ください)

【申し込み方法について】

今年度より、講座をwebにて開催を行うことからHPよりネット予約となりました。

受講料はご予約時にクレジットカード決済させていただきます。

【最近のトピック】

年3回開催(平日) 1回1単位、受講料1,000円

開催方法: オンライン研修 (Zoom 配信)

令和3年10月20日(水) 19時30分～21時00分	第187回	演題: 分子標的治療薬の基礎と最近のトピックス 日本大学薬学部 分子標的治療学研究室 准教授 片山 和浩 先生
令和4年2月24日(木) 19時30分～21時00分	第188回	演題: 高齢者における抗菌薬適正使用のポイントと高齢者に特化した施設でのAST活動について(仮題) 順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター 薬剤科 宗 村盛 先生

【ファーマシューティカルケアの最前線】

年3回開催(日曜) 1回2単位、受講料2,000円

開催方法: オンライン研修 (Zoom 配信)

時 間: 13時00分～16時10分

令和4年2月13日(日) 13時00分～16時10分	(疾患別テーマ) 精神科領域の薬剤師の活躍
-------------------------------	-----------------------

【薬剤師実践セミナー】

1回3単位、受講料5,000円 スキルを身に付ける参加型セミナーです。

日 程 令和3年12月を予定

場 所 日本大学薬学部

開催方法: 対面にて実施予定 ※ただし感染状況により中止または延期する場合があります。

時 間: 10時00分～17時00分(予定)

テ ー マ: 患者の心に寄り添う薬剤師になろう! ～認知行動療法的アプローチによる服薬支援～

講 師 : 日本大学薬学部 教授 渡邊 文之 先生

認知行動療法的アプローチによる服薬支援研究会 前田 初代 先生

認知行動療法的アプローチによる服薬支援研究会/株式会社カメガヤ(フィットケアデポ)

田沼 和紀先生

問い合わせ先: 日本大学薬学部薬剤師教育センター

TEL:047-465-3895

FAX:047-465-2384



研究室だより

病院薬学研究室（1号館3階135）

桜薬会会員の皆様方におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。病院薬学研究室の近況についてお知らせいたします。本研究室には、教員2名（福岡憲泰教授、大場延浩）に加え、4-6年生の計25名の卒業研究生が在籍しております。さらに、社会人大学院生と上席研究員、薬歴システムに関する研究をサポートして頂いている薬剤師の先生の計3名が在籍しております。

4年生は6月に配属が決まり、後期からの卒業研究、OSCE、年明けのCBTに向けてスタートしたところです。5年生は、実務実習を行っている学生と大学で研究を継続する学生がおります。4年次からスタートした卒業研究の成果を今年の日医療薬学会年会にて発表する予定で、その準備に奮闘しております。6年生は卒業試験と国家試験の突破に向けて猛進しています。

本研究室では、レセプトデータベースや調剤薬局の薬歴を活用して医薬品の市販後安全性に関する薬剤疫学研究を行っております。ご興味のある方がおられましたら、遠慮なく大場までご連絡ください。

毎年恒例となっていた病院薬学研究室同窓会は、毎回、卒業生のご活躍の様子を感じることが出来る機会なのですが、コロナ禍ということもあり、しばし中断しています。とても残念ではありますが、また皆さんと元気に再会できることを楽しみにしております。

最後になりましたが、会員皆様のご健康とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

（大場 延浩 記）

臨床薬物動態学研究室（3号館4階345）

桜薬会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。臨床薬物動態学研究室の近況を報告させていただきます。

現在、臨床薬物動態学研究室では、松本宜明教授、宮本葵専任講師、青山の教員3名、客員研究員1名、社会人大学院生1名、6年生12名、5年生12名、4年生14名で教育、研究活動を行っています。

昨年度より続く新型コロナウイルス感染症の流行により、研究室での活動は随分と様変わりしました。これまで行っていた研究室旅行や懇親会は行わず、学生同士と教員の交流を目的にオンラインで交流会を行っています。研究内容に関しましても、感染状況により研究室で実験を行えなくなる可能性を考慮し、*in vitro*, *in vivo* 研究を縮小し、*in silico* 研究を拡大することにより対応しています。ピロール・イミダゾールポリアミドの薬物動態研究、臨床データの薬物動態/薬力学解析、薬物動態解析プログラムNONMEM、統計解析環境RとPythonによる人工知能・シミュレーション研究を研究室一丸となって進めております。

先行きが見えない状況が続きますが、研究室では引き続き、薬物動態に基づく医薬品適正使用、TDM、PK/PDに関する研究・教育活動を行っていきたくと考えています。今後も勉強会、セミナーを企画して行きたいと考えておりますので桜薬会会員の先生方のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

（青山 隆彦 記）

健康衛生学研究室（3号館2階324）

東日本大震災から10年が経過しましたが、昨年からのコロナ禍、毎年訪れる自然災害など心休まる日々はなかなか訪れません。そのような中でも医療に携わる皆様方のご尽力、感謝の念に堪えません。

皆様と同様にコロナ禍は研究室にも大きな影響を与え、例えば昨年開催予定でした研究室開設10周年記念同窓会は、5年後の15周年まで延期することとしました。この春卒業した10期生は、伝説の学年になるかというくらい優れた能力と人柄を備えた学生達でしたが、登校の制限を余儀無くされました。それでも限られた時間の中で多くの成果を上げ、その能力の一端を示してくれました。

その後を継いだ11期生（写真）ですが、比較のおとなしいメンバーではあるのですが、データの質やプレゼンのクオリティは非常に高く、本研究室の新たな1ページを開いてくれた感があります。今後、国家試験に向かいますがこの学生達ならば必ず超えてくれると思っています。

そして12期生と13期生ですが、今後の研究室を作っていく大切なメンバーです。実務実習や就職などでお世話になる事もあるかと思いますが、その際にはよろしく願いいたします。

教員に関しては、榛葉、和田先生ともに元気で変わりはありません。大学院1年の石井君も頑張っています。

皆様も健康に気をつけて、そしてうちの研究室の卒業生らしくチャレンジ精神と柔軟な考え方を持って、真摯に、そして勤勉に過ごして、それぞれの場所で活躍してください。次にお会いできるのを楽しみにしています

（榛葉 繁紀 記）



薬品物理化学研究室（3号館4階342，6号館4階644）

桜薬会会員の皆様にはますますご活躍のこと、お慶び申し上げます。

さて、今年度の薬品物理化学研究室は私、藤井と田口教授、橋崎准教授、今井研究員（留学のため5月末退職）、社会人大学院3年生1名、大学院1年生1名、6年生12名、5年生12名で、9月には新たに4年生14名が加わりました。分子集合体を応用した基剤の物性評価やこれを用いた中分子や高分子の皮膚移行、また、臨床適用を考慮した適用方法での製剤の変化や2剤併用時の薬物皮膚移行変化など皮膚をターゲットに様々な研究を行っています。

昨年来の新型コロナウイルス感染症の関係で、登校ができない時期や密にならないよう分散登校でなかなか全員が集まる機会がなく、ちょっと寂しい研究室です。そういう中でも、研究を着実に続け、日本薬剤学会では橋崎准教授と社会人大学院生がポスター発表、日本DDS学会では大学院生が学会デビューを果たしました。6年生は卒業論文をまとめ、6月26日にZOOMによる卒業研究発表会で口頭発表、質疑応答をしっかりと行うことができました。

それでもやはり、早く感染が収束し、研究室旅行や懇親会を再開し、研究だけでなく、人と人とのつながりを密にしていけることを願っております。写真は、卒業論文を提出し、久しぶりに全員集合した6年生と教員です。

最後になりましたが、桜薬会会員の皆様のご健康と、より一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

（藤井 まき子 記）



臨床医学研究室（3号館4階344、6号館4階645）

秋季さわやかな良い季節になりましたが、日本大学薬学部校友会、桜薬会の皆様におきましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この文章を書いております2021年8月は梅雨末期のような雨がふり、つい先日も朝方からの雷雨でテニスコートが池の様になっておりました。臨床医学研究室におきましては、2021年3月に小野真一教授が退職されました。2021年4月に私、加納久雄が拝命いたしました。専門は消化器外科で外科手術、と化学療法を行なっていました。現在の医療は他職種のチーム医療が必要です。医療系総合大学としてどのような連携が望ましいかを考えていければと思っています。

現在、臨床医学研究室は浅見 覚准教授、徳田栄一専任講師、加納久雄の教員3名で教育、研究にあたっております。研究室に配属された学生は、新型コロナウイルス感染拡大のため研究については大学への通学も制限されるなか、オンラインでのミーティング等で苦勞をしている状況です。発表会もオンラインで行われ活発な質疑応答までは十分ではないと思っています。実習として薬局、病院へも感染に細心の注意を払いこなっています。伺った際にはご指導よろしくお願ひいたします。

薬学部が6年生になり卒業後、国家試験を突破し社会へ飛び出すわけですが、大学が試験のための予備校のようではなく、薬学の研究者としての人材の育成の役割も果たせるよう望んでいきたいと思っています。

(加納 久雄 記)

日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金制度について

日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金制度は平成22年度通常総会で設立が承認されて、専用口座を開設し、校友会会員の方々からの募金及び薬学部校友会桜薬会会報広告掲載料を奨学金の原資としています。平成23年度から給付を開始しています。

薬学部校友会（桜薬会）奨学金制度にご理解をいただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年度の日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金の決算は下記のとおりであることを報告いたします

日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金専用口座（令和3年3月31日現在）

科 目	収 入	支 出	残 高	備 考
前年度繰越金	6,716,916			
今年度寄付金	310,000			寄付9件 奨学生3名、200,000 ×3
奨学金支給		600,000		
合 計	7,026,916	600,000	6,426,916	

募金は下記口座をお願いいたします。
口座：00120-5-318734
口座名：日本大学薬学部校友会奨学金

地区支部・職域支部だより

第45回桜神会

令和3年7月13日（火）、恒例の第45回桜神会がオンラインで開催されました。当会は、神奈川県内の医療機関に勤務する病院薬剤部（局・科）長に加え、調剤薬局に勤務する薬局長、若手の薬剤師、製薬会社の医薬品情報担当者（MR）と様々な職種の方々に参加していただいております。オンラインでの開催は2回目となりますが、新たに1名の先生が加わり、総勢20名の幅広い職種の先生方にお集まりいただきました。

大学からは荒川基記先生（医薬品評価科学研究室）にご出席賜ることができました。コロナ禍での大学教育や新型コロナウイルスワクチン職域接種の現状など貴重な情報をご提供いただきました。

桜神会に先立ち開催された学術講演会では、馬場康彦先生（昭和大学藤が丘病院 脳神経内科 准教授）より「進行期パーキンソン病の薬物療法～オピカポンの特徴とは～」について、先生の経験に基づく多くの知見と最新の話題をご提供いただきました。パーキンソン病は多様な治療薬が存在する疾患です。薬物治療の過程で薬物有害反応も含め様々な症状が現われ、きめ細かい服薬指導が重要となります。講演ではパーキンソン病の4大主徴である「静止時振戦」「動作緩慢」「筋固縮」「姿勢反射障害」の実際の動画を見せていただき、病態をより理解できる貴重な機会となりました。また、パーキンソン病患者では60～70%で処方通りに内服ができていない報告もあります。病院と調剤薬局が連携して服用状況を含めた経過観察を行うためにも、是非本会のネットワークをご活用ください。

本会では今後も様々な形での交流を検討しております。神奈川県在勤、在住の先生方には今後も積極的なご参加をお願いいたしまして、第45回桜神会のご報告とさせていただきます。

（岡添 進 記）

桜神会に関するお問合せは

桜神会 会長 赤瀬 朋秀（日本経済大学 経営学部・大学院 教授 t-akase@tk.jue.ac.jp）まで



日本大学ニュース

令和3年度入学式挙行

令和3年4月8日（木）に日本武道館およびインターネット同時中継により2年ぶりに挙行された。式は、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底し、収容人数を制限して全席指定で学生のみが入場とした。更に午前、午後の2部制から3部制に回数を増やし一回あたりの人数を制限した上で開催した。加藤直人学長が告辞の中で、これからの時代は従来の延長線上ではなく、マニュアルもないため、本学の教育理念である自主創造の下、将来立派に社会で活躍できる人材になるよう大いに学んでほしいと述べた。続いて田中英壽理事長は、日本大学は深く努力する皆さんを全力で応援します。自ずからの意思で決して悔いのない素晴らしい学生生活を過ごしてくださいとエールを送る式辞を述べた。

日本大学全国校友大会開催の見送り

令和2年度の全国校友大会は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止となりました。令和3年度については、東京都におけるリバウンド防止措置を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催は見送ることになりました。

薬学部ニュース

令和2年度薬学共用試験結果

	実施日程	合格者数	合格基準
CBT	本試験 令和3年1月9日（土）、10日（日） 再試験 令和3年2月18日（木）	218	正答率60%以上
OSCE	本試験 令和2年12月6日（日） 追試験 令和3年2月20日（土）	223	細目評価70%以上 概略評価5以上

OSCEの評価者として多くの卒業生の皆様に御協力いただきました。ありがとうございました。

第106回薬剤師国家試験結果

第106回薬剤師国家試験が令和3年2月20日（土）、21日（日）に実施され、3月24日（水）に合格発表がありました。合格率は88.3%で全国平均85.6%、私大平均85.1%でした。

薬学実務実習

令和3年度の薬学実務実習は、第Ⅰ期は令和3年2月22日（月）から令和3年5月9日（日）、第Ⅱ期は令和3年5月24日（月）から8月8日（日）、第Ⅲ期は令和3年8月23日（月）から11月

7日（日）、第Ⅳ期は令和3年11月22日（月）から令和4年2月13日（日）の日程で行われます。

5年次生が薬局、病院の順に続けて1期ずつ実習を行います。卒業生の皆様にお世話になる学生も大勢いるかと思いますが、御指導の程、何卒よろしくお願いいたします。

学位記伝達式

令和2年度大学院薬学研究科及び薬学部の学位記伝達式が3月25日（木）に2号館2階多目的ホールにおいて行われました。199名（博士課程3名、学部生196名）が修了・卒業し、巣立っていきました。

開講式

令和3年度大学院薬学研究科及び薬学部の開講式が4月2日（金）に薬学部2号館2階多目的ホールにおいて、新入生261名（博士課程3名、学部生258名）を迎えて行われました。

薬草教室

第31回薬草教室が令和3年5月8日（土）に開催されました。今年度の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、オンラインによる開催となりました。講師に日本大学名誉教授の安川憲先生をお迎えし、「奄美の植物と蝶」と題し、御講演をいただきました。また、講演の最後に、松崎教授が薬学部構内の薬用植物園の紹介を行いました。

スポーツ大会

令和3年度のスポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

公開講座

第24回公開講座が令和3年6月1日（火）から6月30日（水）までの1か月間、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、オンデマンド配信により開催いたしました。講師に医学部附属板橋病院薬剤部門の中村公薫氏をお迎えし、「睡眠は健康のもと」と題し、御講演をいただきました。

オープンキャンパス

令和3年7月18日（日）及び8月22日（日）に開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、事前予約制により来場者数の制限を行うとともに、万全の感染防止対策を講じて開催されました。

来場者数は7月18日が75組（129名）、8月22日が115組（218名）の方から御参加いただきました。

また、御来場できなかった方のために、特設Webオープンキャンパスを開催し、来場型オープンキャンパスの際の学部紹介と入学者選抜の説明、ミニ講義等の動画を公開いたしました。

会 務 報 告

令和 3 年度校友会幹事会および通常総会報告

令和 3 年度幹事会と通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、同日（令和 3 年 6 月 27 日（日））に開催された。

幹事会は午後 1 時から薬学部 822 教室において、幹事参加者 32 名で開催された。

議題

1. 日本大学薬学部校友会会則改正案について

内倉会長から改正についての趣旨と要点が説明され、審議の結果、原案のとおり総会に上程することとなった。

2. 令和 3 年度通常総会資料について

薬学部校友会通常総会資料についての提案があり、審議の結果、原案のとおり総会に上程することとなった。

3. その他

1) 本会から校友会本部への役員選出が報告された。

常任委員 日高慎二（29 期）、小松崎康文（41 期）

委 員 目鳥幸一（25 期）、林 宏行（30 期）、澤田康裕（33 期）

2) 本部からの校友会準会員会費還付金の分配割合は現在 60%である。令和 4 年度より順次引き下げ、令和 6 年度には他学部校友会と同じ 40%に変更になる旨が報告された。

通常総会は、幹事会に引き続き、午後 3 時から薬学部 822 教室で会員 34 名が参加し、名誉会長鳥山正晴薬学部長をお迎えして開催された。司会は小菅康弘氏（45 期）が務めた。内倉会長の挨拶に引き続き、学部代表として鳥山薬学部長から、本学の薬剤師国家試験の合格率が 85.1%であったことや就職率が 100%であったこと、また新カリキュラムを実施していることなど、薬学部を取り巻く状況の説明があり、引き続き校友の協力をお願いしたい旨のご挨拶があった。

その後、校友会会則第 14 条により内倉会長を議長に選出した。議事に先立ち議長から議事録署名人岸川幸生氏（35 期）、斎藤弘明氏（46 期）が指名された（会則 14 条）。

第 1 号議案（令和 2 年度庶務報告、事業報告、決算報告ならびに監査報告）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第 2 号議案（令和 3 年度事業計画案ならびに予算案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第 3 号議案（日本大学薬学部校友会会則改正案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第 4 号議案（役員承認）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

役員任期は校友会会則第 9 条により 3 年とする。ただし今期に限り、残余期間とする（令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）。

○ 会長選出

校友会会則第8条1項に基づき、内倉和雄氏が承認された。

○ 副会長選出

校友会会則第7条及び第8条2項に基づき、副会長6名を内倉会長が提案し、承認された。

総務委員長 渡邊和子(9期)
財務委員長 田口博之(34期)
事業委員長 日高慎二(29期)
学内委員長 小林弘子(28期)
IT委員長 矢作忠弘(52期)
事務局 内山武人(33期)

○ 監事選出

校友会会則第8条5項に基づき、小川尚武(10期)、阪田泰子(31期)、澤田康裕(33期)が承認された。

第5号議案(その他)

○ 校友会会則第25条に基づき、校友会本部への役員選出が報告された。

(任期3年;令和2年4月1日~令和5年3月31日)

常任委員 日高慎二(29期) 小松崎康文(41期)

委員 目鳥幸一(25期) 林宏行(30期) 澤田康裕(33期)

今年度の幹事会、通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大のため終始マスク着用で、懇親会の開催も見送られたが、束の間の校友との再会を喜び合った。次年度は通常での再開を祈念し散会した。

物故者名簿：心よりご冥福をお祈り申し上げます。(2021.7.31現在)

正会員	11期 伊藤(桜井)祐子(2021.04.10)
1期 満澤(立澤)敬子	11期 柴崎(佐藤)照美(2020.11.01)
2期 虎溪(関口)恭代(2019.02.24)	12期 須藤 健一
2期 東(深田)睦世(2020.07.26)	14期 森 憲一(2021.01.27)
2期 米沢(船石)和子(2021.02.08)	16期 木山(本原)啓子(2016.)
3期 藤 薫(2019.11.01)	17期 亀谷 久雄(2020.12.10)
5期 江黒(鳥田)さだ子(2019.07.13)	18期 洞口 恒明(2021.01.11)
6期 小林 一雄	20期 村木 一恵(2019.09.09)
6期 松井(樋浦)孝子(2020.07.18)	22期 坂本 信義(2021.01.05)
9期 田村 行弘(2021.03.10)	26期 越川(望月)藤乃(2021.03.30)
9期 岡田(甲谷)ひろみ(2020.01.01)	27期 小林(葛谷)美穂(2019.09.15)
10期 池脇 松秀(2021.07.20)	32期 山下 博子(2018.06.17)
11期 太田 和夫	

校友会事務局に、死亡日時、葬儀日時、会場、喪主をご連絡いただければ、会より弔電を打たせていただきます。

令和2年度 決算報告

正味財産計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:円)

科 目	令和2年度実績	令和2年度予算
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
①受取会費		
入会金収入	2,572,000	2,552,000
前納当年該当分	7,412,000	6,453,000
学生・正会員当年分	3,750,000	4,100,000
②雑収益		
受取利息	233	300
有価証券利息		
医療系収入		
その他収入	115,798	600,000
経常収益計	13,850,031	13,705,300
(2) 経常費用		
①事業費		
印刷費	1,591,700	2,000,000
原稿料	26,400	60,000
発送費	1,963,994	2,200,000
生涯教育講座	300,000	300,000
支部等	240,000	500,000
学生会員	2,648,892	2,360,000
医療系・工科系	0	200,000
HP管理費	330,000	400,000
事業費計	7,100,986	8,020,000
②管理費		
総会費		700,000
委員会費	7,030	120,000
管理費	708,190	900,000
人件費	1,783,936	2,000,000
旅費交通費	144,012	500,000
通信費	130,536	250,000
本部等分担金	570,000	630,000
慶弔費	103,500	500,000
予備費	50,000	85,300
管理費計	3,497,204	5,685,300
経常費用計	10,598,190	13,705,300
当期経常増減額	3,251,841	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用		
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	3,251,841	
一般正味財産期首残高	16,863,845	
一般正味財産期末残高	20,115,686	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	15,688,140	
指定正味財産期末残高	15,688,140	
III 正味財産期末残高	35,803,826	

貸借対照表

令和3年3月31日現在 (単位:円)

令和2年度	
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	159,738
普通預金	20,993,425
郵便貯金	18,942,444
野村証券預け金	29,854,219

流動資産合計	69,949,826
資産合計	69,949,826
II 負債の部	
1 流動負債	
前受前納会費	34,146,000
流動負債合計	34,146,000
負債合計	34,146,000
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
指定正味財産合計	15,688,140
2 一般正味財産	20,115,686
正味財産合計	35,803,826
負債及び正味財産合計	69,949,826

令和3年度 予算

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位:円)

○収入の部

科 目	予 算
入 会 金	2,618,000
年 会 費	
前納会費積立	6,805,000
当年度納入	4,000,000
利 子	300
雑 収 入	600,000
合 計	14,023,300

○支出の部

科 目	予 算
1 事業費 合計	8,360,000
①会誌発行費	
印刷費	2,000,000
原稿料	60,000
発送費	2,200,000
②活動補助費	
生涯教育講座	300,000
支部・同期会	500,000
学生会員	2,700,000
医療系・工科系	200,000
③HP管理費	400,000
2 管理費 合計	5,663,300
①会議費	
総会費	700,000
委員会費	120,000
②事務局費	
管理費	900,000
人件費	2,000,000
旅費交通費	500,000
通信費	250,000
③その他	
本部等分担金	630,000
慶弔費	500,000
④予備費	63,300
合 計	14,023,300

○本 部 還 付 金

科 目	予 算
1 本部還付 (正会員)	(150,000)
年会費充当分	100,000
雑収入充当 (寄付金扱)	50,000
2 本部還付 (準会員)	(9,096,000)
入会金充当	2,618,000
年会費充当分	3,032,000
前納会費充当	3,446,000
合 計	9,246,000

日本大学薬学部校友会会則改正

第4章 役員

第8条 役員は、正会員より、次の各号に従い、総会の承認を得て選任する。

1 現行どおり（会長は、… …

2（現行）副会長は、幹事中から会長が指名する。

（改正）副会長は、正会員から会長が提案する。

3 現行どおり（幹事は、… …

4（現行）常任幹事は、各期幹事の互選により、各期1名選出し、各期の総括をする。他に会長が学内幹事及び幹事中から指名することができる。

（改正）常任幹事は、各期幹事の互選により、各期1名選出し、各期の総括をする。他に正会員から会長が提案することができる。

5 現行どおり（監事は、… …

第5章 総会

第11条 総会は、通常と臨時の2つとする。

1（現行）通常総会は、年一回、会長がこれを招集する。

（改正）通常総会は、年一回、会長がこれを招集する。

ただし、総会の開催が困難な場合は、幹事会をもってこれにかえることができる。

2 現行どおり

第6章 役員会

第15条 役員会は、次の通りとする。

（現行）

（改正）

1 運営委員会

1 幹事会

2 幹事会

2 運営委員会

3 委員会

3 委員会

（現行）第16条 運営委員会は、

（改正）第17条に

（現行）第17条 幹事会は

（改正）第16条に

附則 この規定は令和3年6月27日より施行する。

なお、改正した会則はホームページに掲載します。

校友会役員名簿（任期（残余期間 2 年）：令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

（期）

会 長	内倉和雄（14）
名誉会長（薬学部長）	鳥山正晴（30）
副会長	渡邊和子（9） 小林弘子（28） 日高慎二（29） 内山武人（33） 田口博之（34） 矢作忠弘（52）

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務委員会	渡邊和子（9）	菅野圭介（22） 林 宏行（30） 岸川幸生（35）	井熊一宏（26） 戸塚ゆ香里（36） 和田 平（46）
財務委員会	田口博之（34）	目鳥幸一（25） 小松裕明（25） 中嶋順一（36）	小村健太郎（40） 荒川基記（41） 宮岸寛子（52）
事業委員会	日高慎二（29）	加藤孝一（31） 大竹富治（31） 安部 恵（39）	浅見 覚（35） 木村元気（51） 田中 融（53）
学内委員会	小林弘子（28）	大場延浩（41） 中島理恵（49） 野伏康仁（49）	小山由美（36） 元吉尚美（44） 徳田栄一（50）
I T委員会	矢作忠弘（52）	熊谷 仁（33） 神 健太（61）	鈴木直人（52） 坂神 宏（42） 花岡峻輔（55）
事務局	内山武人（33）	三浦基文（44） 小菅康弘（45） 齋藤弘明（46）	鈴木豊史（37） 大橋祥世（44） 下田康代（52）

監 事	小川尚武（10） 阪田康子（31） 澤田康裕（33）
-----	----------------------------

支部連絡会会長	遠藤尚登（25；山形県） 平岡芳子（21；茨城県） 渡邊和裕（37；栃木県） 藤原良雄（16；千葉県） 小松崎康文（41；東京） 赤瀬朋秀（34；桜神会） 山岸美恵子（20；新潟県） 古屋育雄（16；山梨県） 三枝和子（14；香川県）
---------	---

工科系校友会連絡会	
幹 事	渡邊和子（9） 田口博之（34）

医療系同窓・校友連絡会	
幹 事	内倉和雄（14） 日高慎二（29） 林 宏行（30） 岸川幸生（35）

全国薬科大学薬学部同窓会協議会	
委 員	内倉和雄（14） 辻 泰弘（42）

卒業期幹事

第 1 期	原田貞亮、小山 隆、田村 玉	第 3 4 期	坂本治彦、石川浩子、原 浩祐
第 2 期	石黒文夫	第 3 5 期	杉本勝昭、石崎智昭、坂井義則
第 3 期	金光継道、中村勝義	第 3 6 期	中嶋順一、難波昭雄、藤澤秀樹
第 4 期	山内 盛、大島芳郎	第 3 7 期	鈴木重由、酒井秀夫、渡邊和裕
第 5 期	鰐 俊夫、小倉操子、高崎美枝	第 3 8 期	中山敏光
第 6 期	前田敏晴、藤本康雄、松島章浩	第 3 9 期	飯嶋久志、菅野守啓、書川宏子
第 7 期	田中孝治、小山征治、久田三郎	第 4 0 期	
第 8 期	青木正忠、荒木国興、寺澤正孝	第 4 1 期	轟 耕司、高梨正成、宮田成康
第 9 期	小松康宏、森田昌弘、渡邊和子	第 4 2 期	須田篤博、猪狩富夫、堂埜 仁
第 1 0 期	小林郁夫、木村由美子、栗原 功	第 4 3 期	
第 1 1 期	稲垣英夫、桑畑善信、東 厚子	第 4 4 期	山本哲也、牛山直樹、森田佳貴
第 1 2 期	小清水敏昌、野澤克己、原田隆子	第 4 5 期	伊藤護之、及川直毅、森木誉嗣昭
第 1 3 期	高橋繁治、玉川欽也、松田信行	第 4 6 期	麦島 篤、磯部 幸、佐藤史行
第 1 4 期	安斉 弥、武田文男	第 4 7 期	岩田佳之、安倍祐治、大平正隆
第 1 5 期	深瀬善弘、吉野信次	第 4 8 期	八卷 亨、小林真里
第 1 6 期	藤原良雄	第 4 9 期	石井範正、山本祐子
第 1 7 期	高木友直、深瀬悦子、吉野美佐子	第 5 0 期	野村沙和子、四方絢子、宮崎恵理
第 1 8 期	大河内一紀、齋藤好廣、安川 憲	第 5 1 期	羽賀健悟
第 1 9 期	坪川博則、須藤孝子、吉岡晴美	第 5 2 期	中島博史、後藤教嘉、柳川亜紗美
第 2 0 期	濱中敏雄、内堀 悟、菊池紀子	第 5 3 期	岡田淳吾、金井裕子、鈴木富仁
第 2 1 期	杉森万千日兒、石田制利、吉田善一	第 5 4 期	梅澤昌弘、川口 亮、棗沢泰人
第 2 2 期	苅部博哲、井澤郁子、菅野圭介	第 5 5 期	市丸 嘉、今井美湖
第 2 3 期	熊井俊夫、野中栄夫	第 5 6 期	島田崇史、小嶋佑輔、古川将司
第 2 4 期	桑田信博	第 5 7 期	影山 明、青山剛一、吉田有佳里
第 2 5 期	梅沢芳史、東海林正弘、森本 宏	第 5 8 期	藤井雅人、金子眞美、加藤美緒
第 2 6 期	小森谷友宏、梶原加恵子、金成俊英	第 5 9 期	中野悠馬、鈴木正有吾、塚原明大
第 2 7 期	吉川日出雄、飯塚 進、山北信広	第 6 0 期	姫野魁人、矢萩弘晃、芳村理江
第 2 8 期	高橋省三、高塩健一、鳥居徹也	第 6 1 期	鈴木勇太、福田光良、鈴木躍士
第 2 9 期	渡辺茂和、加藤奈津江、渡辺 実	第 6 2 期	西留啓太郎、山崎政幸、八木沙英子
第 3 0 期	鈴木恵裕、原口善朗	第 6 3 期	佐野拓夢、佐藤真由子、竹村悠哉
第 3 1 期	原 英行、尾形眞一、中澤 豊	第 6 4 期	坂本浩一、安藤和胡
第 3 2 期	福島 栄		
第 3 3 期	熊谷 仁、関根 均、前田雄一		

常任幹事

原田貞亮 (1) 石黒文雄 (2) 金光継道 (3) 山内 盛 (4) 鏑 俊夫 (5) 前田敏晴 (6)
田中孝治 (7) 青木正忠 (8) 小松康宏 (9) 小林郁夫 (10) 稲垣英夫 (11) 小清水敏昌 (12)
高橋繁治 (13) 安齊 弥 (14) 深澤善弘 (15) 藤原良雄 (16) 高木友直 (17) 大河内一紀 (18)
坪川博則 (19) 濱中敏雄 (20) 杉森万千日兒 (21) 荻部博哲 (22) 菅野圭介 (22) 熊井俊夫 (23)
桑田信博 (24) 梅沢芳史 (25) 小松裕明 (25) 小森谷友宏 (26) 吉川日出雄 (27) 高橋省三 (28)
渡辺茂和 (29) 鈴木恵裕 (30) 原 英行 (31) 大竹富治 (31) 福島 栄 (32) 熊谷 仁 (33)
坂本治彦 (34) 杉本勝昭 (35) 中嶋順一 (36) 鈴木重由 (37) 中山敏光 (38) 飯嶋久志 (39)
轟 耕司 (41) 須田篤博 (42) 山本哲也 (44) 伊藤護之 (45) 麦島 篤 (46) 岩田佳之 (47)
八卷 亨 (48) 石井範正 (49) 野村沙和子 (50) 羽賀健悟 (51) 中島博史 (52) 岡田淳吾 (53)
梅沢昌弘 (54) 市丸 嘉 (55) 島田崇史 (56) 影山 明 (57) 藤井雅人 (58) 中野悠馬 (59)
姫野魁人 (60) 神 健太 (61) 鈴木勇太 (61) 西留啓太郎 (62) 佐野拓夢 (63) 坂本 浩一 (64)

学内幹事

目鳥幸一 (25) 井熊一宏 (26) 石毛久美子 (27) 小林弘子 (28) 日高慎二 (29) 林 宏行 (30)
加藤孝一 (31) 内山武人 (33) 田口博之 (34) 浅見 覚 (35) 岸川幸生 (35) 小山由美 (36)
戸塚ゆ香里 (36) 鈴木豊史 (37) 安部 恵 (39) 小村健太郎 (40) 荒川基記 (41) 大場延浩 (41)
辻 泰弘 (42) 坂神 宏 (42) 大橋祥世 (44) 三浦基文 (44) 元吉尚美 (44) 小菅康弘 (45)
齋藤弘明 (46) 和田 平 (46) 中島理恵 (49) 野伏康仁 (49) 徳田栄一 (50) 木村元気 (51)
下田康代 (52) 鈴木直人 (52) 宮岸寛子 (52) 矢作忠弘 (52) 田中 融 (53) 花岡峻輔 (55)

日本大学校友会役員 (任期3年；令和2年4月1日～令和5年3月31日)

副会長	内倉和雄 (14)
常任委員	日高慎二 (29) 小松崎康文 (41)
委員	目鳥幸一 (25) 林 宏行 (30) 澤田康裕 (34)



代表取締役 稲垣英夫
(昭和41年 理工学部薬学科 卒業)

株式会社 三祐産業
稲垣薬局

イナガキグループ 事業所一覧

■ ドラッグストア

吉祥寺医療ビル 稲垣薬局
和漢薬舗 東洋堂稲垣

■ 調剤薬局

東洋堂稲垣薬局 小金井店
稲垣薬局 小平店
稲垣薬局 井の頭店
稲垣薬局 高島平店
稲垣薬局 田無店
稲垣薬局 三鷹店
稲垣薬局 徳丸店
稲垣薬局 東村山店
稲垣薬局 中道店
稲垣薬局 中目黒店
稲垣薬局 東村山諏訪店
稲垣薬局 新日黒店
稲垣薬局 桜町店
稲垣薬局 あきる野店
稲垣薬局 町田店

三鷹駅前調剤薬局
稲垣薬局 公園通り店
稲垣薬局 サンロード店
稲垣薬局 川崎店
稲垣薬局 北町店
稲垣薬局 熊谷店
稲垣薬局 溝口店
稲垣薬局 吉祥寺本町店
稲垣薬局 東松山店
東洋堂稲垣薬局 西一条店
狭山調剤薬局
稲垣薬局 春日部店
稲垣薬局 横浜鶴見店
稲垣薬局 三鷹北口店
稲垣薬局 帝京溝口店
稲垣薬局 もろハビネス館前店
稲垣薬局 クオラ武蔵境店
稲垣薬局 新サンロード店
稲垣薬局 荻窪店

■ 介護福祉部

稲垣薬局 訪問入浴
稲垣薬局 訪問介護
稲垣薬局 居宅介護支援
稲垣薬局 訪問看護ステーション
稲垣薬局 デイサービスコトニア吉祥寺
稲垣薬局 デイサービス吉祥寺
稲垣薬局 デイサービス桜上水
稲垣薬局 デイサービス経堂
介護付有料老人ホーム アローズ井の頭
介護付有料老人ホーム アローズ武蔵野

■ 保育園

キッズいながき保育園吉祥寺
病児・病後児保育室いながき

■ メディカル

(医)緑祐会 宮西クリニック
(医)緑祐会 吉祥寺駅前クリニック
(医)大慈会 慈秀病院

<http://www.inagaki-group.jp>
東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-14メディコープビル4階

稲垣薬局 検索

会費納入報告

財務委員会

会費を納入いただきました方の名簿です。ご協力ありがとうございました。誤りがありましたらお知らせください。

本部準会員（学生会員）会費納入者は人数のみのご報告とさせていただきます。

（令和3年2月1日～7月15日）

会費納入者

2,000円納入者

56 杉本幸美, 鈴木隆子, 山口久美 57 種谷えんじ 58 伊勢忠 59 木村清 61 勝本行子, 小林和子, 辻厚子 62 青木千勢子 63 小林静子, 寺澤正孝, 芝紀代子, 吉田紀子, 栗島國利 64 金子幹宏, 廣瀬慶子 65 佐藤富子, 佐藤良夫 67 増淵美子 68 藍原恭子 72 山下和代 73 三浦修, 久保山昇 74 加賀谷元, 川井龍美 76 片桐秀明, 小菅孝太郎 77 山下はるひ, 山下仁志, 藤田智子, 長瀬健市, 川崎雅博 78 小林侑二 79 田邊浩二 81 北村奏, 加藤善久 82 渡辺正実, 中村宏典 85 杉中淳 86 谷地由香, 松田一 89 茂木祐子 90 石井博之, 奥陽子 95 今田吉宣 98 野村浩子 00 山村智, 磯山知之 05 藤代大輔

以上 50 名

4,000円納入者

57 松村洋子 59 澤地次雄 61 小山登志江 66 佐々木連 86 阿部幸生

以上 5 名

6,000円納入者

58 佐藤フク子

以上 1 名

10,000円納入者

56 藤本澄以 57 宮内トシ, 黒瀬眞子 58 中村勝義, 檜山玲子 59 石原敏子 60 鈴木和子, 杉崎敦子, 吉田郁夫 61 後藤立子, 四條邦雄 62 上谷知子, 高澤克昌, 間瀬泉 63 久保田昂 64 菅井昌子, 栗原勝彦, 佐藤美智枝 65 久保田慶子, 近絢子 66 伊藤ちか子, 桑畑善信 67 中島斉子 68 宮田宏子 69 牛込昌子 70 高野嘉巳 72 早藤知恵子, 宮本俊男, 田口久美子 73 大河内一紀, 岩瀬京子, 高橋啓子 75 三浦孝司 76 佐藤寛子, 吉田善一 77 鈴木孔子 78 木村美智子, 三枝章人, 浅野明美 79 桑田信博, 小松克也, 大原直子, 松本明美, 松本道明 80 栗太隆 81 小野泰子, 木下文恵, 梶屋わかば, 仙名生代, 大沢聖子 82 吉澤早苗, 吉澤康明 85 神谷英里, 宮下久徳, 斎藤義夫, 林宏行 86 草柳光男, 星加代子, 菊部英寿, 佐藤敏美 87 菅谷佐知子, 西谷幸久 90 神谷洋 91 小峯良美 93 峯岸一夫 93 沢田敬子 94 小山理恵, 菅野浩, 富田英子 96 北雄一郎 98 久木崎和恵, 湯浅美佐子 03 塚原梨恵, 長嶋昭人, 柳澤真衣子 06 吉田聡

以上 76 名

12,000円納入者

93 後藤達也 99 堀江佳奈

以上 2 名

20,000円納入者

73 鈴木真知子 74 小林康泰 77 内田茂 81 五月女美幸, 岡崎仁子 82 小松貴美子 83 伊藤哲雄 97 猪狩富夫 00 小菅宏子, 田邊かこな 02 尾池明子 08 曾我部秀文

以上 12 名

30,000円納入者

96 吉住尚美 99 元吉尚美

以上 2 名

令和3年度本部正会員会費納入者 (薬学部校友会へ会費還付があった者)

57 一ノ瀬衛, 山長みどり 59 小澤初子 60 斎藤文夫 61 前田敏晴 62 山崎美江 63 長崎雅彦 64 小松康宏, 渡邊和子 65 小川尚武 68 高橋繁治 69 内倉和雄 70 宇野澤まり子, 草間貞 73 斎藤好廣, 鈴木真知子 74 平井幹廣 75 土井正道 76 伊藤正徳, 本橋重康 79 地曳いせ子 80 梅沢芳史, 遠藤尚登, 関和優子, 目鳥幸一, 丸山恵子 81 山中健三 82 木村高久 84 日高慎二 85 鳥山正晴, 林宏行 86 岩鶴節子 88 澤田康裕 89 伊藤秀悦 90 浅見覚, 岸川幸生, 西村伸大, 新海一郎 94 安部恵, 土屋晃一 96 大場延浩, 小松崎康文 00 木村恵子 01 荒井希文, 齋藤弘明 05 橋本詠次 06 松本大輔 08 大塚進 12 北野徹 14 今井徹, 下田康代
特別会員: 稲井孝行, 宇野朋子, 小野真一, 神田信, 鈴木晃, 手塚雅勝, 富澤経裕, 松尾光帆, 松本宣明, 村田佳子, 真嶺寺千恵子

以上 62 名

令和3年度本部準会員会費納入者 (薬学部校友会へ会費還付があった者)

学部	1年	270名	大学院1年生	3名
学部	2年	254名	大学院2年生	6名
学部	3年	241名	大学院3年生	5名
学部	4年	244名	大学院4年生	6名
学部	5年	216名		

以上 1,508 名

日本大学薬学部校友会(桜薬会)奨学金寄付者

01 齋藤弘明
広告掲載企業 (株)三祐産業

合計 70,000 円

発行日 令和3年10月15日
編集人 日本大学薬学部校友会事業委員会
発行人 日本大学薬学部校友会 内倉和雄
印刷所 協友印刷株式会社
TEL 03-5948-7150

発行所 千葉県船橋市習志野台 7-7-1
日本大学薬学部に (〒274-8555)
TEL/FAX 047-465-1478 (直通)
E-mail: pha.alumni@nihon-u.ac.jp
振替口座番号 00140-0-53798
振替口座名 日本大学薬学部校友会